



▲「名古屋米野地区跨線橋上から撮影(平成21年12月2日)」 瀬江支部 東 昇

CONTENTS

2 地本・支部だより

- 名古屋地方本部
地本主催のゴルフ大会「新たな仲間の発見」
カラオケを続けるには熱意が鍵
鉄道OB新聞「伊勢版」300号発行

3 ●静岡地方本部

- 誰でもが気軽に交流グラウンドゴルフ大会開催
レクリエーション活動の一環「日本百名山」雨農山をめぐる」旅
鉄道少年団も参加 ヒカヒカになったD51

5 ●東海東京地方本部

- 第1回 地本主催ゴルフ大会 日頃会えない仲間と情報交換

●東海大阪地方本部

- 元気で楽しくゴルフ大会開催

6 JR東海トピックス

- 10 お元気ですか? 名古屋セントラル病院
予防医学について

11 読者のひろば

- 中央西線旧トンネル群を歩いて 齊藤 傑
後の世に伝えたい鉄道人の誇り 戸田 達雄
ブルートレインの思い出 小川 昇
人間は間違いを起こしやすい動物である 岩塚 清一

13 投稿ページ

記事募集

14 インストラクター

- マジックで老人・子供に夢を
中津川 久(静岡支部)

駅探訪

田丸駅

15 文芸

編集後記

名古屋地方本部

地本主催のゴルフ大会
“新たな仲間の発見”

名古屋地方本部 事務局

昨年11月青空の下、当地本の各支部から脱自慢65名が集い年1回のゴルフ大会を「花の木ゴルフクラブ」で開催しました。参加者は、モーニングコーヒーで気持ちを落ち着かせ、ゴルフ談議に花を咲かせていました。

競技はOUT9組、IN8組に分かれてスタートし、日頃身体を鍛えているためか、未だ衰えを知らない剛腕でティーショットを放つと思えば、年齢を重ねた小技でアプローチを決めるなど各ホールから溜息と歓声が、秋のさわやかな風に乗って聞こえて来ました。

プレー後、平井地方本部長が「会員の皆さんが、ますます元氣を保って、地本、支部の会に積極的に参加して活躍してもらいたい。」と挨拶し表彰式に移りました。大会に際して、石塚会長、今村副会長及び建守キヨスク社長からそれぞれ賞品の提供を受けました。入賞者は、平井本部長から各賞のそれぞれ大



▲地本・支部の会へ積極的に参加を—平井地方本部長

きな賞品、小ぶりな賞品を受け取り満面の笑みを浮かべ、秋の夕暮の中全員元気に帰路に着きました。

この大会を通じて、新たな会員同士のグループ或いは個人同士の仲間の発見など、今後のOB会活動に参加する楽しみが一つ増えたという声が聞かれました。

入賞者は次の通りです。(敬称略)

優勝	新幹線名古屋施設支部	奥村 三喜夫
準優勝	三河支部	本多 亮
第三位	桑名支部	西塚 和紘
会長賞	名古屋東支部	森川 広憲

カラオケを続けるには熱意が鍵

守山支部長 竹田 孝雄

当支部では、昨年11月29日「カラオケ同好会」の第20回記念祭を、区内カラオケ喫茶「道」で開催しました。

当日12時から貸し切りの会場「道」には、歌手13名が集まりました。早速、会員からこの記念祭を機に会の名称を変更してはとの提案があり、話し合った結果「JOKカラオケ会」に決まりました。

これは、「JROBとうかい」から採用したもので、新会名をバクにみんなで記念撮影を行い、食事とともにアルコールも入って、一人4曲計52曲をそれぞれ自分の持ち歌で熱唱し、楽しいひと時を17時まで続け、十分堪能し散会しました。

この会は、支部会員が楽しい生活を送ろうと平成18年10月発足、以来隔月で開催してきたもので、当初は「何時まで続くか」と心配しましたが、会員の熱意と努力で今日に至り20回目を開催することが出来ました。



▲20回目を迎え元気に集う仲間たち

しかし、この素晴らしい集まりを今後とも続けるには難問があります。それは、会員数が少ないうえ、高齢化に伴い健康上の理由、または家庭の事情などで会の日時を決めても欠席者が出るなど参加者の確保に苦慮していることです。でも今我々会員は、健康である限り各自が「続けて行こうという熱意が鍵」だと思って、お互い励まし合って頑張っています。

鉄道OB新聞「伊勢版」 300号発行

伊勢支部 村林 隆吾

鉄道OB新聞伊勢版は、当支部の情報紙として昭和60年の4月に第1号を発行以来、毎月1回25年間一度の休刊もなく発行を続け、この3月号で記念すべき「300号」を達成することが出来ました。

この間、東海鉄道OB会が発足し、連合会の毎月発行の全国版から3ヵ月毎の東海鉄道OB会報に代わった際、伊勢版の発行について検討した結果、会員から支部独自の情報源として、継続を強く要望され発行を続けて来ました。

平成9年度の総会で執行部が交代し、定例の6月期役員会で新しい分担等を決定したところ、支部の一般的な事務運営は出来そうですが、伊勢版の発行は無理との意見が多く出されました。その時伊勢版は148号で、その編集は2代に亘って支部長がほぼ1人で担当していたのが実態で、このままでは、来月号が発行出来なくなりそうでした。日時が迫る中、伊勢版第1号を発刊した顧問にお願いし協力を得て、急場をしのぎどうか連続発行を続けることが出来ました。

それ以来出来、不出来は問題ではなく継続発行を至上命



▲会員の協力で300号を発行した新聞

題にして取り組んできました。始めのうちは、定例事項だけでは原稿が不足するので、役員が手分けして色々な情報を寄せ集め編集を行いました。その後、年を重ねて安定的に連絡事項や、投稿が寄せられるようになり、また同好会グループの活動も活性化しようやく編集も軌道に乗り始め、今回300号達成に至りホットしています。伊勢版は、今後も支部活動の中心であり続けるという思いと、先輩の教訓を生かして温かいOB会活動が続けるため、会員に「待たれる」新聞を心がけていきたいと思っています。

また、配達料等で支部の経費が増大する中、ここまで続けられたのは、約8割の会員宅(2割は郵送)に毎月35名の会員がそれぞれの地区を回り、会員の近況を聞きながら配達率で支えてもらった結果の「300号」達成で、皆さんの協力に心から感謝しています。

静岡地方本部

誰でもが気軽に 交流グラウンドゴルフ大会開催



▲グラウンドに集まった3支部の参加者

静岡支部 中津川 久

10月28日スッキリした青空の下で、静岡・焼津・藤枝3支部のグラウンドゴルフ大会を、東静岡駅近くの静岡市「にぎわいゾーン広場」で57名の参加を得て開催しました。

参加者の平均年齢は76歳と後期高齢者の年齢ですが、皆元氣一杯でプレーしました。また、女性14名が参加する中、和氣あいあいで、昔話に花を咲かせるなど楽しい大会でした。

この大会は、年2回3支部が順番で当番となって開催し、今回は6回目となりました。グラウンドゴルフは、高齢者の中では最も盛んなスポーツです。

鉄道OB会としても、誰もが気軽に楽しめるスポーツとして、ウォーキングとともにますます盛んにして、健康で滝瀬とした人生を送っていただきたいものです。

大会の成績結果(敬称略)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1位 藤枝支部 津金 敬三 | 4位 静岡支部 中津川 久 |
| 2位 焼津支部 袴田 陽子 | 5位 藤枝支部 小野田 重夫 |
| 3位 藤枝支部 滝 一郎 | |

レクリエーション活動の一環 日本百名山「雨飾山をめぐる」旅

富士宮支部 米山 明徳

昨年の10月の紅葉シーズン、支部活動の一環として日本百名山の一つである雨飾山を長野県側から入り、素晴らしい紅葉を眺めながら妙高高原赤倉温泉で一泊する旅を開催した。

10月27日、富士宮駅前を6時30分に出発し、15名の参加者を各地で乗せ甲府南インターから中央道を経由して長野道に入って桐池自然公園に向かった。参加者は元の職場が一緒の人もあれば初対面の人もあったが、車内は和やかに話が弾んでいた。最高齢者は84歳、一番若手はこのマイクロバスの所有者で運転手兼観光案内を買って出てくれた渡辺君62歳であった。

最初の目的地である桐池に到着したが、雨で散策は中止となりバスは一路小谷温泉雨飾山荘へ向かった。途中、ブナの原生林は、世界遺産の白神山地に劣らぬ美しい自然と景観を我々に提供してくれた。雨の中に霧が流れ、その合間に時折射す一条の光は紅葉を一段と浮かび上がらせる演出をして、参加者全員感動に包まれた。

雨飾山は、読んで字のごとく雨の日が多く、晴天にはなかなかお目にかかれなそう。雨飾の峠で、一旦下車したが肌寒くすくバスに戻り、ブナ等の林に囲まれた一周約2kmの小さな鎌池に



▲ブナや楓に囲まれ笑顔を見せる参加者

立ち寄った。この池は、ブナや楓に囲まれ水面に映る紅葉が素晴らしい大変美しい場所であった。雨飾荘に到着したのは昼前、昼食を摂り風呂に入り妙高高原赤倉温泉に向い4時に到着した。

二日目は、快晴に恵まれ朝9時に出発し、善光寺に参拝し真つ暗な中を慎重にそろりそろりと歩くお胎内めぐりを行った。また、参加者は行くところごとでお土産を買い、仲間からまた買ったなどと冷やかされ楽しんでた。

今回の旅行を企画し、自ら運転手として腕を奮い、みんなを楽しませてくれた渡辺君本当にありがとうございました。

鉄道少年団も参加 ピカピカになったD51

富士支部 今村 文旦

秋晴れに包まれた11月15日の日曜日、身延線の入山瀬駅西側の富士市入山瀬公園に、高野静岡鉄道少年団長以下22名の少年少女及び鉄道OB会富士支部の会員16名が集まり、昭和52年3月に設置された蒸気機関車「D51」の清掃を行いました。

SLの清掃活動は、同公園愛護会のSL保存会と当支部会員が、年4回の清掃活動を続けているもので今年で32年目になります。このように長期間清掃活動が継続できたのは、この活動が当支部の大切な年間行事となっており、多くの会員が気楽に参加し会員相互の親睦の場になっていることです。また、常に整備の行き届いたSLの勇壮な姿が見られる公園として、市民からも親しまれ、さらにJR東海のさわやかウォーキングでも立ち寄る場所になっています。また時には会員の清掃活動が、地元紙にニュースとして掲載され評価され励みになっていることが挙げられます。

9時30分、計画通り簡単な注意事項を伝達して、それぞれ



▲清掃を終えたD51の前で鉄道少年団と一緒に…

がおいしい用具を持って作業に取り掛かりました。今年の「D51」は、台風襲来の影響もあり汚れが目立ち、特に動輪付近の赤錆びはひどい状態でした。しかし、鉄道少年団の熱心でスピーディーな作業のお陰で頑固な赤錆びも消え、約1時間で元のピカピカに輝いた勇姿に戻りました。

鉄道OB会会員16名との合同作業は、笑顔と会話溢れる楽しいひと時となり、少年団に隔々まで磨いてもらった「D51」にとっても最高の休日であったと思われます。

作業終了後、SLに詳しいOB会会員から蒸気機関車の仕組みについての講義を聞くなど、短い時間でしたが少年団の参加により、OB会会員にとって有意義で楽しい一日でした。

東海東京地方本部

第1回 地本主催ゴルフ大会
日頃会えない仲間と情報交換

東海東京地方本部 事務局

当本部は、昨年11月第1回のOB会ゴルフ大会を神奈川県「チェックメイトカントリークラブ」で開催し、15名の会員が参加しました。

当日は、快晴とは言えず曇天でしたが、各プレーヤーの熱意が天に届き終日ゴルフ日和で終了しました。

プレー終了後の反省会では、ほんのり顔を赤く染め「次回こそは優勝は自分だ」、「〇〇さんは、ハーフ後の酔剣打法の方がよく飛んでいる」等、実にわがままな楽しい反省となりました。

また、日頃近くにいってもなかなか会えない先輩や仲間と、親しく情報交換し大切な時間をもてた大会となり、次回の再決戦を約束して解散しました。



▲初めての大会に参加した会員

大会の成績は次のとおりです(敬称略)

- 優勝 運輸営業支部 岩本 公治
準優勝 運輸営業支部 石井 幹也
第三位 運輸営業支部 片野 孝司

東海大阪地方本部

元気で楽しく
ゴルフ大会開催

東海大阪地方本部施設支部 辰巳 俊彦

平成21年10月9日(金)に「京阪カントリー倶楽部(滋賀県大津市)」で、施設支部幹事による第9回東海鉄道OB会東海大阪地方本部主催のゴルフコンペを開催しました。

当日は、各地から43名の会員が集い、クラブハウスでそれぞれに談笑しながらスタート時間を待ちました。前日に通過した大型台風18号の影響で、コースコンディションはあまり良くなかったのですが天気、気温ともにプレーをするには絶好の日となりました。

コースはトリッキーなホールが多く、スコアをまとめるの



▲青空の下でプレーを楽しんだ参加者

に悪戦苦闘した会員も多く見られました。しかし参加者は元気がいっぱい大空の下、楽しくプレーして、大いに気分転換を図ることができました。

競技終了後、コンパームで表彰式を行い参加者全員で親睦を図る事もできました。

上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝 運輸営業支部 由井 豊秋
準優勝 運輸営業支部 北村 義雅
第三位 運輸営業支部 宮地 淳二

ブルートレインの思い出

この列車は、東海道新幹線開業以来、多くの乗客に愛され、多くの思い出を創り出してきました。また、多くの乗客に愛され、多くの思い出を創り出してきました。

高速鉄道技術の先進性・優位性を
海外に向けてアピール

高速鉄道シンポジウム

●総合技術本部



▲高速鉄道シンポジウムの様子



▲挨拶する葛西会長



▲N700系車両による最高速度330km/hの実証運転

11月16日、当社の高速鉄道技術を紹介する「高速鉄道シンポジウム」を、名古屋マリオットアソシアホテルにおいて開催しました。このシンポジウムには、米国、英国、インド、マレーシア、インドネシア、エジプトの6カ国の日大使館関係者をはじめ、米国の高速鉄道プロジェクト関係者、日本政府関係者、大学や企業の関係者など約170名の参加がありました。

シンポジウム冒頭、葛西会長から「当社が高速鉄道システムの海外展開を積極的に推進する決意を固めたことを、広く世界に発信するために開催した」と開催の趣旨が述べられ、続いて森村総合技術本部長から東海道新幹線システムの国際版「N700-I Bullet^{※1}」の紹介が、白濁リニア開発本部長から当社が開発を進めている超電導リニア技術「SCMAGLEV^{※2}」の紹介がありました。

また、当日夜間には、N700系車両による最高速度330km/hの実証運転を米原～京都間で実施し、シンポジウムの参加者に試乗していただきました。海外からの参加者から「非常にスムーズで乗り心地が良かった」との評価もいただき、N700系車両が330km/hで運転可能な性能を持っていることを国内外に示しました。

今回のシンポジウムを通じて、当社が保有している高速鉄道技術の先進性、優位性をアピールできました。今後、当社は、米国への展開をまず第一に実現し、さらには国際的に幅広く展開していくことを目指しており、今回のシンポジウムは、そのスタートラインとなる重要な節目となりました。

※1 N700-I Bullet：N700系を国際仕様としたN700-I (International) を中心とする東海道新幹線運行システムの総称

※2 SCMAGLEV：超電導リニア-Superconducting Magnetic Levitation Transport Systemの略

小集団活動

第14回 総合発表会「JR東海グループ交流大会」

●人事部 ●事業推進本部

11月17日、ホテルアソシア豊橋において第14回 小集団活動「JR東海グループ交流大会」を開催しました。

JR東海グループ会社間の交流と小集団活動のレベルアップを目的に平成8年よりスタートした今大会は、40社が発表し、聴講者や来賓を含めた参加者は約440名にのびりました。テーマは、安全、サービス向上、業務の質向上等で、本当に困っている問題について改善事例が発表されました。

冒頭、幹事長のジェイアール東海関西開発㈱の和泉社長より「JR東海グループをとりまく経済環境は厳しいものであるが、小集団活動を通じて「業務に無駄がないか」「改善できることはないか」と考えることは、職場の活性化・企業の体質強化につながる。発表会の目的は日頃の活動体験を発表し相互啓発を図ることであり、ぜひ他の会社の取組みから、多くのことを学んでほしい」との挨拶がありました。

また、来賓を代表して嵐山人事部長より「JR東海グループでここまで小集団活動が定着してきたのは、グループのメンバーの皆さんはもちろん、各会社幹部の深いご理解ときめ細かいご支援の賜物であり、感謝申し上げます。小集団活動の意義は職場のコミュニケーション活性化や、身近な問題を解決していくことにある」との挨拶がありました。

さらに、副幹事長の日本機械保険㈱の杉山社長より「鉄道業務に関わる不規則な勤務の社員が多い環境の中で、工夫をしながら会合を開催し、議論していただいたことに感謝を申し上げます。今回の発表で参考になった他の会社の工夫点を、自分の会社にも取り入れて、さらに活動を盛り上げてほしい」との講評がありました。

審査の結果、新幹線エンジニアリング㈱「モールズ」、新幹線メンテナンス東海㈱「花見月」、中央リネンサプライ㈱「つくし」の3グループが、2月16日に開催される「チャレンジ東海」活動第23回全社発表大会で招待発表することになりました。



▲新幹線エンジニアリング㈱「モールズ」の皆さん



▲新幹線メンテナンス東海㈱「花見月」の皆さん



▲中央リネンサプライ㈱「つくし」の皆さん

▲開会挨拶をする
ジェイアール東海
関西開発㈱の和泉社長▲挨拶をする
嵐山人事部長▲講評をする
日本機械保険㈱の
杉山社長

▲発表風景



▲調査報告書を出す松本社長

東海道新幹線バイパス(中央新幹線)にかかる 4項目調査報告書の 提出について

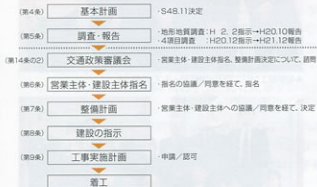
●東海道新幹線21世紀対策本部

当社は、昨年12月24日、超電導リニアによる東海道新幹線バイパス、すなわち中央新幹線について、全国新幹線鉄道整備法に基づく4項目の調査報告書を独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構とともに国土交通大臣へ提出しました。

今回の調査報告書の提出により、東海道新幹線バイパス実現に向けた法律上の手続きは、新たな段階に入り、交通政策審議会への諮問を経て、営業主体・建設主体の同意を得た上での整備計画の決定へと進みます。その後、建設指示、工事実施計画の申請・認可を経て、着工となります。

当社は、超電導リニアによる東海道新幹線バイパスについて、引き続き、早期着工のための諸準備を行うとともに、全ての場面における工事費やコストを徹底的に圧縮しつつ、早期実現に向けた取組みを進めます。

全国新幹線鉄道整備法の流れ



さらにご利用いただきやすいダイヤへ 3月13日ダイヤ改正

●東海鉄道事業本部 ●新幹線鉄道事業本部

当社は3月13日にダイヤ改正を行います。新幹線では増強したN700系を活用し、東海道・山陽新幹線を直通する「のぞみ」及びご利用の多い早朝上り「のぞみ」の利便性向上を主体とした輸送改善を行います。主な内容は下記の通りです。



東海道新幹線関係

N700系 定期「のぞみ」を増発

東海道・山陽新幹線を直通する全ての定期「のぞみ」101本をN700系での運転とするなど、N700系で運転する定期「のぞみ」を増やします。これにより、東海道新幹線の定期「のぞみ」の概ね7割となる120本がN700系での運転となります。

早朝上り 「のぞみ」の利便性向上

平日においては、新大阪・京都からは始発より連続6本、名古屋からは始発より連続7本の上り「のぞみ」をN700系での運転とします。これにより、東京に8時20分から9時13分までに到着する「のぞみ」がN700系での運転となる他、一部列車については速達化を図ります。

西明石・新神戸から東京に8時台に到着する列車が誕生します。



東京～博多間の「のぞみ」 毎時3本運転する時間帯を拡大

毎時2本運転している東京～博多間の「のぞみ」に加え、朝夕の時間帯を中心に東京～広島間の「のぞみ」の一部について、運転区間を博多まで拡大します。これにより、東京～博多間を運転する「のぞみ」が8本増えるとともに、毎時3本運転とする時間帯が増え、ご利用しやすくなります。

在来線関係

各線区において 一部の列車の時刻を変更



JR東海博物館(仮称)展示車両

蒸気動車を
名古屋工場へ搬入

●総合企画本部

平成23年春に開業予定のJR東海博物館(仮称)の展示車両の運搬が始まりました。

そのスタートとして、博物館明治村に保存されていた当社所有の「蒸気動車キハ6400形式」が、展示整備を行うため、12月7日から8日にかけて名古屋工場へ搬入されました。

この蒸気動車は、客室の端部に蒸気機関を搭載した珍しい車両で、明治45年に製造され、昭和18年に廃車となるまでの約30年間、主に関西地区で活躍していました。現存する唯一の蒸気動車で、昭和37年には「鉄道記念物」に指定された貴重なものです。

明治時代の特色ある車両として昭和42年より明治村の要望を受けて展示してきましたが、博物館建設にあたり約40年ぶりに返還していただきました。

当日は、機関・走行部と車体の切り離し、車体のトレーラーへの積み込み、梱包と慎重に作業を進め、深夜に明治村を出発、早朝、名古屋工場へ到着しました。



▲機関・走行部と車体の切り離し作業

▲車体のトレーラー積み込み作業

▲名古屋工場に到着

今後、順次車両運搬を行い、平成22年10月末には全ての展示車両を博物館へ搬送し終える予定です。

CHANGE～全ては勝つために～

硬式野球クラブ
平成22年試合日程

●硬式野球クラブ事務局

平成22年参加大会予定表

大会名	期日(予定)	場所
春季大会	3月27日～30日	岡崎市民球場
静岡大会	4月3日～6日	浜松市民球場他
九州大会	5月8日～11日	北九州市民球場他
都市対抗野球大会 東海地区予選	予選リーグ戦 6月11日～19日	岡崎市民球場
	予選トーナメント戦 6月22日～7月2日	岡崎市民球場
北海道大会(注)	7月28日～8月1日	札幌円山球場
高山大会(注)	8月5日～9日	高山中央公園他
JR大会	8月11日～12日	ナゴヤドーム
都市対抗野球大会	8月27日～9月7日	東京ドーム
日本選手権野球大会 東海地区予選	9月23日～10月1日	岡崎市民球場
愛知県野球連盟会長杯大会	10月9日・10日・23日	未定
伊勢大会	10月14日～18日	伊勢市倉田山球場
日本選手権野球大会	一回戦 10月30日・31日	岡崎市民球場他
	二回戦以降 11月9日～14日	京セラドーム大阪

*大会期日・場所については、変更となる場合があります。
* (注) 都市対抗野球大会東海地区予選で代表となった場合、北海道大会もしくは高山大会に出場します。

小栗監督のコメント

日頃より野球クラブに対し多大なご支援・ご声援を賜りましてありがとうございます。
昨シーズンは、都市対抗野球大会及び日本選手権野球大会の出場を逃しましたが、今シーズンは、「CHANGE～全ては勝つために～」を新たなスローガンとし、都市対抗野球大会「日本一」を最大の目標とし、挑戦していきたいと思っております。
3月の春季大会を皮切りに全力野球で戦ってまいります。ご支援・ご声援の程よろしくお願いたします。

公式野球クラブに新人3名
移籍2名(日産・JR東海)
が加わりました。

①年齢 ②出身高校・出身大学
③身長・体重・投・打

ノムラ タカ
野村 慶太【外野手・0】

①27歳
②平塚学園高
→創価大
③178cm・77kg
右投・左打

アベトモカズ
秋葉 知一【投手・1B】

①28歳
②四日市工業高
→国士大
③175cm・75kg
左投・左打

アベツグツバ
秋月 翼【内野手・2】

①23歳
②在久長聖高
→専修大
③177cm・82kg
右投・右打

マツダハルカ
山内 晴貴【投手・1B】

①23歳
②沖縄水産高
→九州共立大
③176cm・80kg
左投・左打

ミンダマサト
溝口 雅人【投手・2】

①23歳
②愛知啓成高
→愛知学院大
③174cm・72kg
右投・右打

予防医学について



名古屋セントラル病院
予防医療部(人間ドックセンター)
主任医長 中江次郎



1. 医学の進歩

昔から人間は「生・老・病・死」を避けられないものと考えてきました。このなかで、「病(氣)」は何らかの罰のような誤解を受けてきました。「悪いことをしたから」病氣になった。具体的な悪事を指摘できなければ「前世で悪いことをしたから」というように、いろいろな屁理屈をつけたものです。そのような風習は今でも私たちの中に残っています。重い病氣になった人が「私は何も悪いことはしていないのに」と思うのがその例です。

そのような社会では、病人は助け合う対象ではなく「悪人」となってしまう、時には迫害の対象にすらなってしまいます。当時の社会で認識できなかった病氣であればあるほど迫害は酷いものでした。洋の東西を問わず、そういった事実があったということは決して忘れてはいけません。

幸いにしてそのような時代は過ぎ、今の社会では病氣と善悪が切り離されて考えられるようになりました。人間の力で病氣に対処できる範囲が広がってきました。感染症に対する抗生物質の登場がその代表です。患者さんに負担の少ない手術(内視鏡手術など)や楽にできる検査(CT検査など)の進歩も同様です。



2. 「治療医学」から「予防医学」に

その次の段階として、病氣になってから対応する「治療医学」ではなく、病氣にならないようにする「予防医学」が重視されつつあります。現在でも予防接種という形で「予防医学」が現実化しているものもあります。しかし予防医学は「未来の医療」であり、少なくとも21世紀の間は「予防医学」が「治療医学」より重視されることは考えられません。

誰がいつどのような病氣になるか、正確な予想は今のところできませんので、現在の予防は個別対応ではなく、全体に広く網を張ることになります。そのための手段が人間ドックです。人間ドックは病氣を予防する手段ではありません。慢性病を発見するための手段、慢性病が重症となるのを予防するための手段です。

慢性病というと、糖尿病や高血圧症・高脂血症だけを考える人が多いのですが、脳梗塞(昔から長患いの代表です)やがん(がんが発見されてから亡くなるまで通常数年以上かかります)も慢性病の一つです。



3. 慢性病の予防

人間ドックで慢性病が見つかったも、がん以外は気にされない方もいます。しかし今はたいしたことはないように見えても、体に対する何らかの害があるからこそ「〇〇病」と名前がついているのです。せっかく慢性病が軽いうちに見つかったのに、何の手立てもたずに時間を浪費することは、とてももったいないことです。

慢性病を治す手段はありません。簡単に治らないから「慢性」というのです。しかし重症化を防ぐ方法は、すでにいろいろ見つかっています。実に簡単な方法です。「腹八分目に医者要らず」と言われるような、日常生活の節制です。ただ、どんなに簡単なものでも、それをずっと続けることが難しいことは誰でも経験していることです。そこで応援団の登場です。応援してくれる人・アドバイザーがいると、1人では難しい継続もやりやすくなります。

当院の人間ドックを受けられた方は、検査項目の関係で、自動的に特定健診(メタボ健診)を受けたことになり、「メタボリックシンドローム」と診断された方は特定保健指導の対象となります。JR東海の社員の方は、健康管理センターにご相談いただくこととなりますが、社員の配偶者の方や出向者の方の保健指導は、当院の人間ドックセンターで行っております。とかく批判のある特定健診(メタボ健診)・特定保健指導ですが、健康応援団として、医師だけでなく保健師・栄養士などを患者さんが使いこなすきっかけとすることができれば大きな意味をもつと思います。当院の特定健診(メタボ健診)・特定保健指導は、皆さまに大変ご好評いただいています。ぜひご利用ください。

中央西線旧トンネル群を歩いて



陶都支部
斉藤 慎

昨年11月中央線定光寺・多治見間の現在は廃線となっている旧線跡1.5kmが市民に開放されるということで歩いてみました。

今回公開された3箇所の赤レンガのトンネルは、明治文化の香りが漂いすぐ隣には玉野川の美しい深谷が流れ、廃線跡には直径30cmを

超す樹木、数百本のモミジが群生し豊かな自然と遺産群が共生する場所に育っています。

このトンネル群は、明治33年(1900年)名古屋・多治見間の鉄道敷設に伴い構築したもので、今年で110年が経過しています。険しい深谷の合間を縫うように14のトンネルが築かれています。昭和41年(1966年)3月複線化により、現在の新線に切り替わったためこのトンネル群のある線路は廃線となりました。

その後約半世紀、2年前まで全く人の手が加えられていませんが、トンネル内はほとんど崩落が認められず極めて良好な保存状態で残っていました。また、文化庁の視察により国の文化財として高い評価がなされ、

平成21年には、経済産業省選定の「近代化産業遺産」に選ばれ、更に国土交通省の「第9回中部の未来創造大賞」特別賞を受賞しました。

こうした歴史的遺産を保存しようという運動が始まったのは2年前の平成19年6月、民間で「愛岐トンネル群保存再生委員会」(愛知県春日井市)が組織され、廃線跡の整備、トンネルのレンガ調査、植生調査、玉野古道遺構調査等を全てボランティアで行っています。

最終的には2~3年を目途に定光寺・多治見間のトンネル群の調査保存とその散策路の整備を目指していますので、この際、私も国鉄・JRの出身者として少しでも協力したいと考え参加しています。関心のある方は是非一口1,000円の寄付をお願いします。また、会員(年会費3,000円)として汗をかいてみようという方は、まずオブザーバーとして参加して見て下さい。10人以上まとまれば団体で見学も出来ますので、実際に歩いて体験されることをお勧めします。

細部については、陶都支部 斉藤 慎 までお電話下さい。おまちしております。

後の世に伝えたい鉄道人の誇り



藤枝支部
戸田 速雄

不況対策として施行された、高速道路通行料の値下げによる利用者は、予想以上のものと聞く、JRへの影響は如何かと思う。利便性は高いが生産性は低く、更に排気ガス問題のある自家用車への特典には、鉄道人の一人として胸に落ちない。この時期に、敗戦後の日本を生きてきた

国鉄の辿った道の体験と思い出話を、自己満足であり紙芝居的なのかも知れないが語り伝えたい。

敗戦国となった日本の国は何処へ行っても、人の心も街の姿も森羅万象全てが、言語に尽くせぬ程の荒廃と混濁の世と化して、衣・食・住の全てが儂ならなかった。誰しもがその日を生きて行くことに精一杯で不安の毎日の日々だった。

バラック建ての駅舎、屋根の無い骨組みだけのプラットホーム、垂れ下がった様な電線、機械力は殆どなく人力のみが頼りの中で、国鉄職員は我が身、我が家を顧みず各々の戦場で黙々と働き、赤錆びた線路の上

汽車を走らせた。煤だらけの真っ黒い煙を吐きながら力強く、汽笛を鳴らし鉄輪が地響きを轟かせながら、瓦礫と焼け野原になった町から町へ人と物を運んだ。走る機関車を始め客車・貨車を問わず列車には、人がなる木の様に乗り、ぶら下がって国民の皆に生きる力を与え乍ら、日本の復興を祈念し最大限の力を振り絞って走った姿は悲しかった。

少ない客車は窓ガラスが割れたまま、腰掛のシートは破れ放題であった。貨車も石炭も乏しく列車本数も少なく、乗車券の発売制限が行われ、数少ない乗車券を求めて旅行者は駅前に並んだ。ヤミ商人・ヤミ物賣の横行に伴い旅行統制官が生まれ、民間の中にそれを名乗る組織が生まれた時もあった。

次第に街に木炭自動車走り、国民車が駅前広場で客待ちをし、国鉄も展望車のあるつばめ、かもめ等の優等列車が走り、今では、夢と言われた超特急新幹線も世界に誇らしく走っている。国の復興から今日の発展に導いた国鉄の貢献度は大きく、実証済みであり長く鉄道マンの自慢であり誇りであると語り伝えたい。

ブルートレインの思い出

春日井支部
小川 昇

二年間米原車掌区勤務後、昭和37年、私が30歳の時名古屋車掌区に勤務した。私の乗務割には、月に2回ほどブルートレイン(さくら)の運転担当車掌として名古屋-大阪間を乗務していた。当時まだ新幹線はなく、国鉄の誇るブルートレインの乗務は特に身の引き締まる思いであった。

その後43年に駅へ転勤し、数回の転勤を繰り返した後、48年3月、名古屋駅東海道下り運転担当助役として10年ぶりにブルートレインに再会、私の40歳の時であった。

駅で夕食を済ませホテルする間もなく、東京駅を夕方発車するブルートレインが11本、当駅20時から0時30分にかけて次々に入って来て5分停車で発車して行く。全列車を送り出しやっと1時から仮眠に入る。

一箇月も過ぎた頃、21時50分の「みずほ」熊本行の到着監視後一旦ホーム事務室へ。そこへ食堂車のウエイトスガ

続いて入って来て、「鉄道電話を貸して下さい」と言って博多の営業所へ連絡をする。その後1~2分の誠に短い時間に会話を交わし、列車に乗ってデッキに立ち「さようなら」と手を振って闇の中へ消えて行く。そんな事がしばしば続くとお互い意識だし、今日は彼女の乗務かなと私の心が通る。

そんな日々が半年ほど続いた或る日「結婚するので乗務は今日限りです。元気でね。」と言って、いつものようにデッキに立ち手を振る姿が深い闇の中へ消えて行った。

それから今日までの37~38年の間、毎年欠かさず年賀状が送られ、限られた紙面に小さな文字で一年間の出来事がピシッリ書かれ、まるで交換日記のようだ。

「今年は男の子が生まれました」それから「母親の死」しばらくして「父親の死」また「息子が結婚し、今はバレーボールに汗を流している」など。そして「主人が定年を迎え、単身赴任の山口から家に帰ってきました。これからは二人だけの静かな生活です」と言ってきた。

20歳ごろの美しく初々しかった彼女は、今57か58歳になり、私は78歳。東京発のブルートレインは全て消え、そして彼女との思い出もやがて忘却の彼方へ……

人間は間違いを起こしやすい動物である

中村支部
岩塚 清一

昭和39年頃の大垣駅長であった、西川さんの教訓でした。今なお忘れることなく、現代にも通ずる言葉だと思えます。

日夜「安全輸送の確保」のスローガンを掲げ、運転事故、傷害事故防止に努め、その対策を強く求められた。訓練のある毎に「人間は間違いを起こしやすい動物である」。だから基本動作、指差確認を行い事故防止につなぐのだと示唆され、訓練を徹底的に実行された。

人間は弱い者である。思い込み「錯覚」を起こすこともあれば、馴れた仕事に気の緩みで間違いを起こす。列車監視について基準規程に「列車が到着する前に、信号機及び線路の状態に注意すること」と定めてある。これらは身につけた基本動作で、日常実行しているが、24時間緊張し続けるのも無理な話である。張りつめた綱は切れる、緩んだ綱は切れない、しかし、確認すべき要所は守らねばならぬことである。

私が高蔵寺駅助役で勤務していたとき、或る日最終の普通列車を見送り、後続列車は通過列車のみとなり、ホット一息する23時30分頃だった。豆台風のような風が出て、横殴りのする雨の夜で、何か不穏な気配を感じたので、ホームに出た。上り本線中継異常なく、反対側の下り

本線を確認すると、ホームに置いてあった、木製の長椅子が線路上に落ちているのを発見、すぐ信号掛に場内信号機を「赤」にせよと命じ、椅子を引きずり下り線の外へ撤去した。3分後に急行旅客列車が無事通過した。線路確認の当たり前のことをしたのみで、その当たり前のことが、大切な確認である。

もし、この時確認を怠っておれば、重大事故が発生していたと思う時、身につけた「基本動作、指差確認」の実行が、今実を結んだのだと、あの西川さんの面影が目に見え、よい言葉を残されたと感じています。

高齢者での交通事故が多発しているので、十分気を付けるよう、やかましく言われていた或る2月の夕暮れの頃、一般道路を自転車で行く、前方で道路工事があり作業員が、道路を掃いており、もう工事が終わったものと思い、通り抜けようとしたところ、鉄管理設用の側溝の中に「ドカン」と突っ込み、体は前方の道路に放り出されて転倒した。幸い厚着だったので肩の打撲のみで済んだが、なぜあの時、降りて確かめなかったのか残念であり、工事は終わったものと「錯覚」したのが間違いのもとであった。翌日になり肩の痛みが出て、治療とリハビリのため一ヶ月通院することとなった。「人間は間違いを起こしやすい動物である」だから、間違いを起こさないために「確認する事を実行し続けること」を念じております。



家族の絆を大切に 四日市支部 桑内 武

当たり前のご存在で、普段気にもとめない事が「家族」。
結婚して家族ができ、子供が生まれた時の親子の愛情、子供がすくすくと育ち一緒に遊んだ思い出、そしておじいちゃん、おばあちゃんに囲まれて賑やかだった時などどれも「家族の絆」です。
現在、3人の孫に囲まれ「家族の絆」を大切に幸せな毎日を送っています。



家族会 沼津支部 一見 高大

私のところは、3人の子供がおり今はそれぞれ独立し5人の子供(孫)がおります。毎年一回、夏休みに13人全員で「家族会」を開いています。

昨年は、長女の家で聞きみんなでわいわいがやがやと楽しい家族の団楽を楽しみました。しかし、孫が大きくなると盛り合い事などで休みが合わなくなり、全員集合も難しくなりましたが、今後も「家族会」を続けたいと思っています。

「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報「JOBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあったものでJOB東海エリアを希望しています。 写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジタルデータでも結構です。 お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジタルデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿 ページ	会員及びご家族により親しんでらおうと、「投稿ページの欄」を設けました。 家族或いは友達と一緒に、楽しいJOB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。 写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部 だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。 この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知し魅力ある支部、活力ある支部づくりに役立てていきますので、是非投稿して下さい。 テーマ、内容等は自由ですが、400～500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。 応募は、会報発行毎に、一名様別ごとに百製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内になり、会報発行時の季節にあつたものとします。 応募の際、冠部に「短歌」「俳句」「川柳」と朱書きして下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。 原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんだ写真があれば添付けて下さい。	掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご了承下さい。 なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。 各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-13-12 丰ヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係宛

インストラクター

マジックで 老人・子供に夢を



静岡支部
中津川久

私がマジックを始めたのは、駅長として団体旅行に添乗した際、何かお客様に楽しんでもらうものがないかと考えた時、地元の公民館でマジック教室があるのを知り参加したのが始まりでした。

その後、真剣に練習を積み重ね今では月1~2回、年間で20回ほど介護施設や老人会、子供会に出掛けて、みんなに夢と笑いを提供して楽しんでもらっています。

私は、舞台上に立ったら真剣に楽し演じ、まっすぐ楽しんでもらい、マジックに興味をもってもらうためネタばらしも1回1つ位にしています。



▲老人施設で夢を与え続ける中津川さん

退職後は、自分の時間に余裕が出来ることで、自分も楽しみ、人にも楽しんでもらえ、少しでも社会に貢献できるマジックを会員の皆さんにも挑戦していただきたいと思えます。

そのほか、グラウンドゴルフでは、家内と一緒に支部の大会や三支部交流大会の世話をしています。

SR
駅探訪
Eki-tanbo

参宮線

田丸駅

- 開業/明治26年12月31日
- 所在地/三重県度会郡玉城町佐田

多気から伊勢市を経て鳥羽までを結び、伊勢神宮の参拝や志摩半島への観光客輸送を担う参宮線。起点駅である多気始発の列車は少なく、多くは紀勢本線から乗り入れている。

参宮線の前身は参宮鉄道で、明治26年、津~宮川間が開業し、明治30年、宮川~山田(現・伊勢市)間が開業によって津~山田間が全線開通した。明治40年に国有化され、亀山~山田間が参宮線となった。明治44年には山田~鳥羽間が開業。昭和34年、紀勢本線全通に伴い、参宮線は多気~鳥羽間に短縮された。

玉城町の表玄関・田丸。緑のいい名ということで、商売人や選挙の立候補者が、駅名入りの入場券を買求めていることがあるという。田丸駅本屋は、部分改修はしているが、ほぼ開業当時のままであり、白い板張りの壁面や朱塗りの軒や柱に、ハイカラな大正時代の面影を見ることが出来る。周囲よりも一段高い所に駅舎が建てられているのも古い駅らしい。また、三重で青春時代を過ごした映画監督・小津安二郎が志摩を舞台に撮影した「浮草」(昭和34年公開)のラストシーンのロケ地としても使用された。

伊勢神宮から近く、豊富な山海の幸に、大湊港があり海上交通の便もよかったため、伊勢を守る拠点を玉丸山と定



めて、北畠親房が南北朝時代に築城した玉丸城。織田信雄が三層の天守閣を持つ堅固な城に改修し、田丸城と改称した。その後、炎上の憂き目に遭いながらも、稲葉、藤堂、久野の歴代城主によって、田丸は城下町として発展。江戸初期には、郡から伊勢神宮を結ぶ参宮道路であった初瀬街道と熊野詣でに出かける巡礼者が通る熊野街道とが合流する要所であったため、宿場町として栄えるようになった。やがて、鉄道の開通によって、近郷農山村の中心地として通勤・通学、農産物・肥料等の集散拠点となった。

なお、田丸城跡は明治に入り御料林に編入されたが、昭和3年、朝日新聞創始者が当地出身の村山龍平が払い下げを受け、城山公園として町に寄贈。町はこれを史跡として保存に努め、村山龍平記念館を併設した。往時をしのばせる苔むした石垣や内堀に囲まれた旧城郭地内には、現在、役場や中学校などが建ち、天守跡からはのどかな田園風景が見渡せる。

駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」2月号から抜粋し再構成したものです。

文芸

【短歌】

ことさらに 老いさらばえる 使う見栄

弱気は見せぬ 初心忘れず

孫来たる 難産育ち 背丈伸び

娘に似てか 美男子凛と

静岡支部 大場慶一

改札を 出れば大陶壁の 迫り来る

匠の技の 響き合う声

新駅に 合わせさわか ウオーキング

要所に立ち 〇B我等は

陶都支部 吉橋信夫

国鉄マン 四十年の夜勤 無事つとめ

妻の膝にて 微笑み急逝

転帳機 凍結守る 吹雪の夜

楽しく語り 君は独り旅

四日市支部 古市月代

嫁となり 妻とよばれて 母となる

三役つとめて 祖母の名をとり

曾孫達の 転げるように やつて来る

元気な声も インフル負か

磐田支部 鈴木まよ子

六十年前の 記憶が甦る

逢坂山の 上り勾配

C51で 逢坂山に いどみたる

過去あり今は デイゼルカーがゆく

津支部 岡 俊雄

【俳句】

立春や 和室に残る 豆つと

菜の花の 咲き始めをり 伊良湖岬

園児行く ふんで薄氷 又踏んで

父年忌 思へば委き 朝のこと

津支部 奥村大喜男

法話中も 箱に鈴虫 鳴き止まず

賀状来る 出会ひなきまま 五十年

西濃支部 久世武治

日本の 四季の楽しさ 回りにくる

一人とは 気楽で寂し 日長かな

春日井支部 秋田漢子

心地好い 小兵力士の 技の湧え

同期会 何でこんなに 差がついた

沼津支部 山田寿男

地位名譽 お金も健康 あればこそ

温泉で すぐに仲良し 腹の傷

笠笠支部 粕澤輝雄

〇印 つけるど弾む カレンダー

妻達者 さつとど動く 手が温い

伊勢支部 吉田国男

晴れもよし 雨もまたよし 老い一途

税金の 還付は儲け 理屈抜き

美濃太田支部 三島次朗

【川柳】

編集後記

東海鉄道OB会が発足してから満5年が経過しました。創刊号の編集後記に「身近な話題の提供とJR東海及び関連グループの施策や動向についての情報提供にここがけたい。」と、抱負が述べられていました。

私どももその趣旨に心がけるとともに、高齢化に伴ってOB会の諸活動に参加できない会員が多くなっている現在、会報による情報を楽しみにしている会員の皆様に着んで読んでもらえるような誌面作り、編集部一同努力している毎日です。

1. 地本支部だよ

昨春秋の行楽シーズン、各地方本部支部で旅行やレクリエーション活動が活発に行われ、会員相互の親睦を深めました。誌面の都合で先月号に掲載できなかったものを掲載しました。

伊勢支部の新聞300号発刊おめでとうございます。毎号拝読させていただいておりますが、充実した内容で大変参考になります。20有余年に亘り毎月1回一度も休むことなく発刊し続けられたその熱意と努力に敬意を表します。

2. 読者のひろば

先月号から投稿者の顔写真を入れています。写真を見て「あいつもずいぶん歳をとったなあ」(お互いさま)と、懐かんだり、名前を覚えていても顔が思い出せない、顔は覚えていても名前

が思い出せないといった方々から好評をいただいております。今後も続けていきたいと思っております。

春日井支部の小川昇氏の「ブルートレインの思い出」は、食堂車の従業員の女性とのほんのわずかの時間での出会いをきっかけにして、ブルトレが消え去った40年後のいまも年賀状のやりとりが続いているという、ちょっぴり甘酸っぱく、ほほえましいような話です。どうかいつまでも続けられますように。

3. 投稿ページ

四日市支部の桑内様、沼津支部の一見様ほのぼのとした雰囲気や伝わるような投稿ありがとうございます。他の皆様もどしどし投稿してください。(中川)



さわやか ウォーキング

予約不要!
気軽に参加できる

6/27日^①まで好評開催中土・日・祝開催

【参加費無料】予約不要【駅がスタート!】



名古屋・
瀬田地区 **55**コース
6/20まで開催



静岡地区 **38**コース
6/27まで開催



※写真、イラストは全てイメージです。

開催については、JR東海の駅にある専用パンフレット又は、
ホームページをご覧ください。http://jr-central.co.jp

ケータイでもコンテンツに
アクセスできます!



JR OB とうかい

Vol.21 2010年4月

発行/〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3丁目13-12キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/中川博行 TEL.052-562-6080(FAX兼用)



曾孫がびっくり

垂井支部 丸岡 正

毎年9月に開催される中仙道垂井宿祭りに、長寿会から協賛して参加しています。この年は、私は叔さんの仮装で参加しました。いつもと違う格好に、私を見た孫は笑い、曾孫はおっかなびっくりでした。



一升餅を背中に“よいしょ”

岐阜支部 渡辺 一成

私の孫娘が、10月3日満1歳の誕生日を迎え、ささやかな誕生会を開きました。その際、我が在に伝わる風習で、満1歳の誕生日に背中に一升餅を背負って歩く、一生食べるに困らないと言われ、この行事をおこないました。



「会報への寄稿・投稿」要領

表紙写真	会報「JOBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたもので、JR東海エリアを希望しています。写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータでも結構です。お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿ページ	会員及びご家族により親しんでらおうと、「投稿ページ」の欄を設けました。家族或いは友達と一緒に、楽しいOB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知魅力ある支部、活力ある支部づくりに役立ていきますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容等は自由ですが、400～500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに宮製菓書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内限り、会報発行時の季節にあつたものとします。応募の際、冠頭に「短歌」「俳句」「川柳」と未重して下さい。
読者のひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんだ写真をあれば添付して下さい。	掲載要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご了承ください。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

インストラクター

私と菊三味



東海大阪地本
運輸営業支部
井上 義雄

私が菊の虜になったのは、駅のホーム等に飾られている菊に魅せられたのが始まりです。

その後、趣味として約50年、この間各地の「菊花大会」で数多く優勝したり、知事賞を受賞しました。また、昭和56年11月には内閣総理大臣賞を頂きました。

これを励みに職場の文化祭、学校、お寺などの催事に積極的に参加したり、指導のため出かけたりして地域の「ふれあいの絆の輪」を広げています。



▲菊の苗を前に微笑む井上さん

そして、平成18年5月に東海大阪地方本部から、菊作りの講師の依頼を受け、毎年「菊作り講習会」を継続して開催し、会員から大変喜ばれています。

今後も、地方本部の趣味の会が、益々活性化するために私自身も協力していきたいと思っています。

JR 駅探訪
Eki-tanbo

東海道本線
あじ 大正
藤枝駅

- 開業/明治22年4月16日
- 所在地/静岡県藤枝市駅前一丁目

静岡県中央部にあり、静岡市の西約20kmに位置する藤枝市。南アルプスを望み、南北に細長い地形で、東南は焼津市、北は静岡市、西は島田市に隣接している。2008年1月には岡部町と合併。昔から「藤」とゆかりの深い土地だったようで、市の花はもちろん「藤」。

平安時代の武将・八幡太郎源義家が後三年の役で奥州へ下る時、立ち寄った若一王子神社の裏山にあった古い松の木に藤の蔓が絡まり、藤の花が咲き誇っているのを見て詠んだ和歌「松に花咲く藤枝の一王子 宮居ゆたかに 幾千代を經ん」に因んで「藤枝」と書くようになったという。

田中城の城下町として栄えた藤枝宿から南西約2.5kmにある藤枝駅。かつて、袋井までを御前崎経由で結ぶ軽便鉄道・藤相鉄道(後の静岡鉄道)の乗換駅でもあったが、現在はバス路線となり、駅前の静岡鉄道バスターミナルが往時の駅跡だ。駅周辺は近年、静岡市のベッドタウンとして著しく発展、駅も南北自由通路整備と橋上駅舎改築により、完全/リアフリー化された。

「花と水と鳥」をテーマに作られた市民憩いの場・



蓮華寺池公園は駅の北約2.5km。春は蓮華寺池沿いの藤棚が見頃になり、4～5月にかけて藤まつりも開催される。夏には公園の名の由来となった蓮の花が池に浮かぶ。ボート乗り場や子供広場、アスレチック広場、日本庭園、滝の広場、野外音楽堂など、年齢季節を問わず楽しめる。

駅の北西約2kmに湧く志太温泉。街中にありながら竹林や松林に囲まれ、緑濃い山裾の閑静な温泉地。明治創業という古風な旅館の風情ある木造のたたずまいに、心が落ち着く。

市内を縦貫する瀬戸川上流にある名瀑・宇嶺の滝。落差70mの大滝は、悲恋の伝説から別名「お君の滝」と呼ばれ親しまれている。

駅探訪は、『JR東海の社内誌「おれんじ」11月号から抜粋し再構成したものです。

文芸

【短歌】

新しき 宇治大橋の 渡り初め
手をとぎさえて 妻と渡りぬ
赤福を 食べて福が 技かると
土産に買いいし 赤福のもち

津支部 岡 俊雄

日照り田に 大程の稲 播分けて

穂抜く翁の 背に滲む汗
栗の花 匂い着けき 山路来て

音なく落ちる 花房を踏む

瀬野支部 池谷秀夫

空襲に 壕へ潜りし 度に泣く

赤子の妹も 六十余歳

十数年 嘆いて暮らす 隣人の

シルバーカーに 今日ばかりをり

浜松支部 原 哲

リニアは アルプス貫ぬき 冷気削ぐ

それまで生きたし 百歳を超ゆ

間伐の 竹の切口 それぞれに

雨港へをり 驟雨上りぬ

上伊那支部 竹内激一

人道とふ 大義の裏に 鬼隠れ

難民増ゆる いくさが続く

誰に逢ふと 云う事も無き 身なれども

装ひてみる 新春の朝

陶都支部 伊藤博司

【俳句】

威を正し 天の声聴く 冬木立
常連の 顔ぶれ揃ふ 年忘れ

浜松東支部 大倉照二

天高し つまんでみたき 白い雲

茫々の中に ひっそり 螢草

津支部 奥村大喜男

睥睨す 阿呼の仁王 寒の入

恙がなく 二人の幸や 寒の餅

名古屋臨港支部 伊藤鈴登

彩少し 残し湖北の 山眠る

北風や 駅待合の 小蒲団

山東支部 久保田かよ子

甘酒も お神酒も笑顔 初詣

老け込まぬ 気力を笑う 置炬燵

大府支部 藤井芳雄

振りかえる 余裕を持たず 年迎え

初日の出 八十路の夢を ふくらませ

富士宮支部 渡辺定喜

給付金 反対しながら 欲しがらん

裏金を 積み立てながら 退職者

美濃太田支部 竹内幸一

上手だね 目では下手だと 言っている

一呼吸 おけば怒りも 笑いなり

沼津支部 山田寿男

【川柳】

威を正し 天の声聴く 冬木立
常連の 顔ぶれ揃ふ 年忘れ

天高し つまんでみたき 白い雲
茫々の中に ひっそり 螢草

睥睨す 阿呼の仁王 寒の入
恙がなく 二人の幸や 寒の餅

彩少し 残し湖北の 山眠る
北風や 駅待合の 小蒲団

甘酒も お神酒も笑顔 初詣
老け込まぬ 気力を笑う 置炬燵

振りかえる 余裕を持たず 年迎え
初日の出 八十路の夢を ふくらませ

給付金 反対しながら 欲しがらん
裏金を 積み立てながら 退職者

上手だね 目では下手だと 言っている
一呼吸 おけば怒りも 笑いなり

沼津支部 山田寿男

編集後記

会員の皆様あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

新年号恒例の東海旅客鉄道株式会社代表取締役社長 松本 正之様からの新年のお祝辞と東海鉄道OB会会長 石塚 正孝からの挨拶及び鉄道OB会の法人会員である各社からの年賀状を掲載させていただきます。

1. 会報のリニューアルについて

一昨年のアンケートの回答結果を踏まえ、昨年からプロジェクトチームを立ち上げ、何回も検討し、ジェイアル・東海線、ジェイアル東海エージェンシー様のご指導もいただき、本号からご覧のようなスタイルでお届けする運びとなりました。

硬いというイメージを払拭するため、①誌名の変更②横書き③オールカラー化することとし、会員の皆様に親しんでいただけることを第一に考え、情報を単純に流すのではなく、心のこもった情報の提供に留意し、写真等を出来るだけ掲載した結果、柔らかく洗練された会報誌になったと自画自賛しております。

会員の皆様のご感想はいかがでしょう。

2. 地本・支部だより

各地方本部・支部とも、秋の行楽シーズンで旅行やレクリエーション活動が活発に行われ、会員相互の親睦を深めました。

3. 投稿ページ新設

会員及びご家族にも親しんでいただけるよう新設しました。投稿要領の趣旨に沿ってどしどし投稿してください。

4. インストラクター紹介

インストラクター(指導員)として認定され、ご活躍いただいている会員を紹介していきます。

(中川)



2010

予約不要!気軽に参加できる
さわやかウォーキング

新春ウォーク

参加費無料 予約不要 駅がスタート!

1/9(土)~2/28(日) 土・日開催



名古屋地区
8コース
2/6まで開催



静岡地区
19コース
2/28まで開催



※写真、イラストは全てイメージです。



開催については、JR東海の駅にある専用パンフレット又は、
ホームページをご覧ください。http://jr-central.co.jp

ケータイでもカンタンに
アクセスできます!

